

## 自己評価シート【向原住区センター児童館】

### 1、福祉サービスの基本方針と組織

#### 1-1 理念・基本方針

1-1-1 (1) 理念、基本方針が明文化（児童館内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等））され周知が図られている。	
<b>【判断基準】</b> (a) 児童館の理念、基本方針が適切に明文化されており、職員、利用者等への周知が図られている。 (b) 児童館の理念、基本方針が明文化されているが、内容や周知が十分ではない。 (c) 児童館の理念、基本方針の明文化や職員、利用者等への周知がされていない。	
<b>【自己評価】</b>	実践例（取組や記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	児童館の理念は、今年度地域懇談会向けに資料を作成し、地域の方々に周知した。また学校あいさつや向原住区住民会議常任委員会では、直接子ども達や利用者の様子を伝えている。館内に立ち寄った利用者に対しては、職員が児童館のお知らせやパンフレットなどを見せ、子どもの年齢に応じた事業を紹介している。
1-1-2 (2) 理念、基本方針の確立・周知について	
良いと思う点	改善が必要だと思う点
コロナ禍が明け、様々な場面で直接児童館の理念や基本方針を伝えることが出来ている。特に地域の方には理解を深めてもらっている。  毎月発行している児童館のお知らせの裏面では、子ども達の姿に加え、事業を進めている職員の思いや子どもと職員の関わりなどを記載している。	児童館のパンフレットなどに理念や基本方針に関する文章を載せられていないので、見直しを行っていく。

### 2、児童館の活動に関する事項

#### 2-1 児童館の理念・目的及び施設特性

2-1-1 (1) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。	
<b>【判断基準】</b> (a) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。 (b) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいるが、十分ではない。	

(c) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	東京都子ども条例のリーフレット作成のために、子ども達に対して権利などの話をした。その後グループに分かれて意見交換をするなど有意義な時間が過ごせた。また平和祈念行事では、読み聞かせボランティアグループの方に来ていただき、改めて平和に対して考える機会を設けた。小中学生の参加があり、中学生からの感想ではボランティアグループに感謝の言葉を述べるなど、それぞれとても良い機会となった。
2-1-(2)	
児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の施設特性を發揮している。	
【判断基準】	
(a) 児童館の施設特性を發揮している。	
(b) 児童館の施設特性を發揮しているが、十分ではない。	
(c) 児童館の施設特性を發揮していない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	子ども達が自分の意志で利用でき、自由に遊んだりくつろいだり、遊びを通して子ども達同士がつながることができるよう援助している。職員との関わりを求めている子どもに対しては、職員がじっくりと関わり、子どもの気持ちを受けとめている。図書室・音楽室・図工室・プレイルームとそれぞれの部屋の特性を活かす工夫をしている。また、今年度は併設の学童保育クラブに転所してきている子が多く、環境の変化に戸惑う姿も見られたが、学童保育クラブ職員と一緒に子ども達を見守ってきた。
2-1-(3)	
子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	
【判断基準】	
(a) 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	
(b) -	
(c) 子どもの権利擁護に関する取組が十分ではない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	子ども達と関わる中で子どもの話の内容や家庭環境などに違和感を感じた際には職員間で共有し、必要な機関と連携している。最近乳幼児の親子や小学生など多国籍の利用があるが、職員はもちろん子ども達も差別的な扱いをせず、一緒に遊んだり、助けてあげる場面がある。
2-1-(4)	
児童館の理念・目的及び施設特性について	
良いと思う点	改善が必要だと思う点
子ども・保護者・乳幼児親子の思いを共感的に	新たな児童館ガイドラインでは、妊婦も対象に追

<p>受けとめ、また地域の方との信頼関係を大切にしている。子ども達のトラブルは両者の思いを聞きながら、解決の手助けをしている。その子の気持ちを受けとめた上で相手の気持ちを知らせ、解決の手助けになるような援助をしている。また、子ども達の意見を反映できる場を設けている。</p>	<p>加されているが、現在児童館では事業が展開出来ていない。今後は保健センターと連携するなど、職員間で考えていく。</p>
---	---

## 2-2 遊びによる子どもの育成

<p>2-2- (1) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。</p>	
<p><b>【判断基準】</b></p> <p>(a) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。</p> <p>(b) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っているが、十分ではない。</p> <p>(c) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解していない。</p>	
<p><b>【自己評価】</b></p>	<p>実践例（取り組みや記録等）</p>
<p><input checked="" type="checkbox"/> a)、<input type="checkbox"/> b)、<input type="checkbox"/> c)</p>	<p>日々の朝会や昼会において、気になる子どもの姿について職員間で共有している。共有することで、職員間で統一した関わりをしていき、子どもの成長に繋げている。一人ひとりに合わせた遊びの展開が出来るように工夫している。</p>
<p>2-2- (2) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。</p>	
<p><b>【判断基準】</b></p> <p>(a) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。</p> <p>(b) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしているが、十分ではない。</p> <p>(c) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしていない。</p>	
<p><b>【自己評価】</b></p>	<p>実践例（取り組みや記録等）</p>
<p><input checked="" type="checkbox"/> a)、<input type="checkbox"/> b)、<input type="checkbox"/> c)</p>	<p>今年度むかいはらふれあいまつりで、久しぶりに子どもスタッフを募集し、子ども達の希望をそれぞれ叶えることができた。例えば、小さな子ども達に折り紙を教えたい、お化け屋敷でこんなおばけになりたいなど、子ども達の思いをそれぞれ汲み取り、実現できたと思う。</p> <p>図工室では、安全対策も含め、配置を見直した。何を作るか考えられるようなコーナーやフリースペースを作り、自由に使ってよい材料や見本の置き場を見直したことで、導線が良くなった。子ども達の工作意欲が満たされるように、職員として働き掛けを行っている。</p>

2-2-(3)  
 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助している。

**【判断基準】**

- (a) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助している。
- (b) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助しているが、十分ではない。
- (c) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるような援助を行っていない。

**【自己評価】**

実践例（取り組みや記録等）

a)、 b)、 c)

プレイルームでは「みんなであそぼうタイム」を展開し、同学年だけでなく異年齢同士の集団遊びの時間として定着している。今年度は伝承遊びを中心に展開し、特にコマは技を磨く子どもが多い。また新たな遊びとしてポッチャを取り入れ、地域行事のポッチャ大会に参加する子もいる。高学年からの子ども達からの提案企画として「くらやみかくれんぼ」を実施した。とても楽しく、継続を望む声もある、

中高生対応については、中高生タイムを実施する度に中学生と職員との関係が深まってきた。中学生の好きな遊びが十分できる環境を整え、好きな遊びをティーンズフェスタのイベントに繋げたことで、中学生の遊びや活動の視野が広がってきた。中高生タイム以外の時であっても来館するようになり、中学生にとって児童館が居場所になってきている。

2-2-(4)

遊びによる子どもの育成について

良いと思う点

色々な遊びや行事の中で、子どもの希望に寄り添い、その思いを実現することが出来たと思う。また、子ども達の思いつきをそのまま企画や継続した遊びにつなぐことが出来ていると思う。

図書室の塗り絵コーナーに、自分たちの描いた絵を塗り絵として置いて欲しいという声が子どもたちから上がり、職員と一緒に進めている。

改善が必要だと思う点

日々の業務に追われてしまい、子ども達のやりたいという気持ちがあるうちに対応できないことがある。子ども達のやる気を大事にしていきたいので、他に工夫の余地はないか職員間で考えていく。

2-3 児童館の安全管理

2-3-(1)

緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。

**【判断基準】**

	<p>(a) 利用者の安全確保のために、体制が整備され機能している。</p> <p>(b) 利用者の安全確保のために、体制が整備されているが、十分に機能していない。</p> <p>(c) 利用者の安全確保のために、体制が整備されていない。</p>
<p>【自己評価】</p>	<p>実践例（取り組みや記録等）</p>
<p><input checked="" type="checkbox"/>a)、<input type="checkbox"/>b)、<input type="checkbox"/>c)</p>	<p>災害時初期対応マニュアルに基づき、月に一回避難訓練を実施している。地震・火災・不審者・水害と様々な状況を想定して実施している。訓練実施後は、職員間で振り返りを行い、いざという時に迅速に対応できるよう努めている。今年度も警察署の方に協力していただき、不審者訓練を行った。ヒヤリハット事例の共有や事故後の再発防止策の徹底をしている。</p>
<p>2-3-(2)</p> <p>利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。</p>	
<p>【判断基準】</p> <p>(a) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集し、要員分析と対応策の検討を行い実行している。</p> <p>(b) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集しているが、要員分析と対応策の検討が十分でない。</p> <p>(c) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集していない。</p>	
<p>【自己評価】</p>	<p>実践例（取り組みや記録等）</p>
<p><input checked="" type="checkbox"/>a)、<input type="checkbox"/>b)、<input type="checkbox"/>c)</p>	<p>毎月施設点検を行い、職員間で共有している。破損個所については、その都度職員間で共有し、南部地区サービス事務所へ報告、修繕の要望を出している。今年度は細部まで確認し、各部屋の課題など洗い出しをした。1度見直したことで整理が出来、補修など出来た。今後も優先順位を確認し、更に安全性を高めていく。</p> <p>年度初めに階段の手すりを滑り降りる姿が見られた。職員間で意見交換をし、声掛けをしたり、花をつけてみたりと対策をしていた。徐々に滑り降りる姿はなくなってきたが、手すりに子ども達の作品をつけてみると、それぞれ自分の作品と認識し、嬉しそうに親に見せている子もいた。</p> <p>来館した子どもが帰宅する際に心配があるような時は、子どもの話をよく聞いた上で、必要に応じて保護者と連絡を取るなど、安全に帰宅できるようにしている。</p>